

令和7年度 第1回文化芸術講座

南海トラフ地震の正体は？ ー佐久穂の災害リスクを考えるー

講師：黒沢 大陸 先生



黒沢 大陸 くろさわ たいりく

1963年長野県生まれ。朝日新聞論説委員。茨城大学大学院理学研究科修士課程修了。証券会社を経て、1991年朝日新聞社入社。社会部、科学部、オピニオン編集部の記者やデスク、編集委員、科学医療部長などを経て2021年から現職。書評委員、日本記者クラブ企画委員も務めた。

主な著書等

単著に『「地震予知」の幻想ー地震学者たちが語る反省と限界ー』（新潮社、2014年）、『コンビニ断ち脱スマホー便利さはほどほどにー』（コモンズ、2020年）。編著に『日本列島ハザードマップー災害大国・迫る危機ー』（朝日新聞出版、2013年）。共著に『政治家よー不信を超える道はあるー』（朝日新聞社、2000年）など。

○日時 令和7年 6月15日(日) 14時00分 ～ 15時30分

○概要 昨年、日向灘で起きた地震を受けて「南海トラフ地震臨時情報」が初めて発表されました。「地震が起きる可能性は数百回に1回」という情報です。長野県や佐久穂町からも注意喚起がありました。どんな備えが適切だったのでしょうか。この地震に限らず、災害への備えには頭を悩ませます。国内や海外の被災地を歩いてきた経験、防災政策が決まる過程の取材などをもとに、佐久穂や私たちの備え、今、10年後、100年後に向けた防災を考えます。

○会場：佐久穂町生涯学習館「花の郷・茂来館」メリアホール

○受講料：200円（大学生以下無料）

○町内外を問わず、どなたでも受講できます（事前予約制）

○お問い合わせは佐久穂町公民館まで（TEL：0267-86-2041）

水と緑のうるおい 人の営みが奏でる 未来のふるさと
主催：佐久穂町公民館